

社会資本総合整備計画 事後評価書

#####

計画の名称	最上川流域における美しい暮らしと水環境の実現			
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	山形県	
計画の目標				

下水道の整備推進により、県民の快適な暮らしを支えるとともに、母なる川「最上川」を基軸とした美しい県土を次世代に伝える。

計画の成果目標（定量的指標）	① 関連市町村との協調により、県内の下水道処理人口普及率を、74.6% (H26) から77.0% (H31) に増加させる。 ② 消化ガス有効利用率を、73.5% (H26) から90.6% (H31) に増加させる。			
----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	
① 下水道処理人口普及率 (%) 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	74.6%	76.2%	77.0%	
② 消化ガス利用率 (%) (山形処理区) 消化ガス有効利用量 (Nm3) / 消化ガス発生量 (Nm3)	73.5%	73.5%	90.6%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	432 百万円	A	432 百万円	B	一 百万円	C	一 百万円	そのほか関連する事業 (D)	一 百万円
-------	--------------	---------	---	---------	---	-------	---	-------	----------------	-------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第三者委員会である「山形県公共事業評価監視委員会」から意見を聴取し評価を行う	整備計画期間の翌年度
	公表の方法
	ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
【村山処理区】																	
A07-001	下水道	一般	山形県	直接	山形県	管渠（汚水）	新設	尾花沢大石田幹線	硫化水素対策	村山市・大石田町						51	
A07-002	下水道	一般	山形県	直接	山形県	処理場		施設計画の見直し	効率的事業計画策定	村山市・東根市・河北町・尾花沢市・大石田町						12	
											小計（村山処理区）		63				
【置賜処理区】																	
A07-003	下水道	一般	山形県	直接	山形県	処理場		施設計画の見直し	効率的事業計画策定	南陽市・高畠町・川西町						10	
											小計（置賜処理区）		10				
【山形処理区】																	
A07-005	下水道	一般	山形県	直接	山形県	処理場	新設	山形浄化センター	消化ガス発電設備等	天童市						0	
A07-007	下水道	一般	山形県	直接	山形県	管渠（汚水）	新設	上山山形幹線	管路施設整備 L=0.4km	山形市・上山市						16	
A07-008	下水道	一般	山形県	直接	山形県	処理場		施設計画の見直し	効率的事業計画策定	山形市・天童市・上山市・山辺町・中山町						1	
A07-009	下水道	一般	山形県	直接	山形県	処理場		施設計画の見直し	効率的事業計画策定	山形市・天童市・上山市・山辺町・中山町						14	
A07-010	下水道	一般	山形県	直接	山形県	処理場	新設	山形浄化センター	汚泥脱水設備等	天童市						305	
A07-011	下水道	一般	山形県	直接	山形県	処理場	新設	山形浄化センター	汚泥消化タンク設備	天童市						0	
											小計（山形処理区）		336				
【庄内処理区】																	
A07-013	下水道	一般	山形県	直接	山形県	処理場	全種	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	酒田市・鶴岡市・庄内町・三川町						23	
											小計（庄内処理区）		23				
											合計		432				

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
その他関連する事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
										合計						

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 流域下水道幹線管渠の整備と関連市町の下水道整備を併せて推進したことにより処理区域が拡大し、下水道処理人口普及率が増加した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	77.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	目標を達成した。 (下水道処理人口普及率は、74.6% (H26) から77.6% (H31) に3.0%増加した。)
		最終実績値	77.6%		
	指標②	最終目標値	90.6%	目標値と実績値 に差が出た要因	消化ガスの有効利用を図るため、消化ガス発電設備の増設を予定していたが、既設消化タンクに不具合が発生し、消化ガスの安定供給に支障をきたしたため、増設を見送った。
		最終実績値	65.6%		
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> 今後も未普及地区の解消を図るため、下水道普及率の向上を目指し、関係市町と協調を図りながら下水道整備を推進していく。 消化ガス利用率について目標達成は果たせなかったが、今後は不具合を解消し、消化ガスの有効活用を図るとともに、Co2削減に寄与していく。（R3実施設計中、R4以降に増設工事着手予定） 今後は人口減少が進む中、下水道事業の経営環境は一層厳しくなるものと推測されるため、将来にわたって安定的・持続的な下水道経営を目指し、効率的な施設整備や生活排水処理施設の広域化を推進していく。 					